

6月は環境月間です

防ごう！地球温暖化

今年2月、地球温暖化を防ぐための国際的な約束である『京都議定書』が発効されました。これにより日本は、二酸化炭素などの温室効果ガスを1990年よりも6%減らさなければなりません。



しかし、私たちの家庭から排出される温室効果ガスは、エアコンの普及や自動車台数の増加などにより、基準年となる1990年と比べて約30%も増えていきます。私たちが二酸化炭素の排出量を減らす

ことは緊急の課題です。

京都議定書を達成するため
の家庭でできる温暖化防止策
をご紹介します。

〈夏期のエアコンの 設定温度を1℃上げる〉

設定温度を1℃上げると
年間で約5.9kgの二酸化炭素
が削減

〈冷蔵庫の扉の開き時間を 短くする〉

開き時間を15秒縮めると
年間で約6.3kgの二酸化炭素
が削減

〈エコドライブ〉

日本の二酸化炭素年間排出
量の1割以上が自家用乗
用車からのものです。この
ため、ドライバーの皆さん
がちよつとした努力をすれ
ば、二酸化炭素の削減に多
大な効果をもたらします。
次の表を念頭において、運
転しましょう。

アイドリング・ストップ	10分間アイドリングすると130ccのガソリンが無駄
急発進・急加速をしない	○急発進を10回繰り返すとガソリンが170cc無駄 ○急加速を10回繰り返すとガソリンが110cc無駄
できる限り公共交通機関を利用	旅客輸送機関では、自家用車の二酸化炭素排出量が最も多く、鉄道が最も少ない。

『我が家の環境大臣』 を登録しよう！

環境省では、皆さんの家庭
において、さまざまな環境に
優しい行動をしていただくエ
コファミリーをインターネット
上で募集しています。(http:
//www.env.go.jp/policy/waga
ya/)

これは、家族の一人が「我が家の環境大臣」として家族のリーダーになります。もちろん、環境大臣は子どもから大人まで誰でもなることができます。エコファミリーに登録すると、国の環境大臣から登録証が発行され、同時に家

族専用ホームページを持つことができます。

我が家の環境大臣は、「エアコンの温度を1℃上げよう」など環境にやさしい行動を家族に呼びかけリードしていきます。

家族みんなで楽しみながら「環境にやさしい暮らし」に取り組んでみませんか？

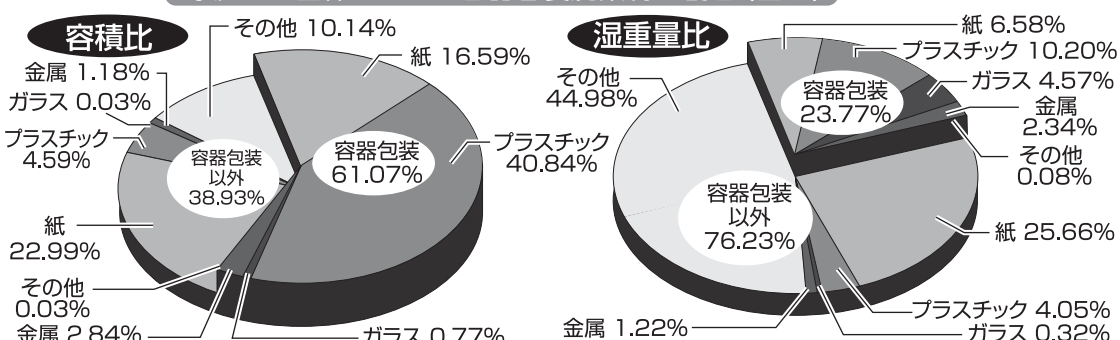
かさばる容器包装ごみ

全国的に家庭ごみ全体に占める容器包装廃棄物は、湿重量比では全体の約24%ですが、容積比では全体の約61%を占めています。とりわけ、ペットボトルを含むプラスチック容器包装が41%を占めており、ごみをかさばらせる大きな要因となっています。

笠岡市も例外ではなく、ごみ袋の中に容器包装廃棄物（ペットボトル・その他プラスチック・トレイ・包装紙・ダンボールなど）や新聞紙・雑誌・衣類など、資源として回収できるものが多く入っているのがみられます。ごみを減らすには、これらの資源物をごみとして出すの

ではなく、資源として分別していくことが重要です。

家庭ごみ全体に占める容器包装廃棄物の割合（全国）



問合せは
環境課
03-3805-1111